

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会

法人化60周年記念

『感謝のつどい』を開催！

毎年開催している「福祉のつどい」を、今年は法人化60周年を記念して「感謝のつどい」へと名称を変更しました。これまでよりさらに規模を拡大して、たくさんの方に楽しんでいただける内容をご用意しています。

日時

令和7年1月26日(日)

10:30~16:00(式典・ライブ13:00~)

- 入場無料
- ※大ホール(式典・ライブ)入場の事前申込は終了しています。
- 申込なしで気軽に楽しめるイベントもたくさんあります！
- 手話通訳あり

イベント詳細はこちら



会場

ティアラこうとう

(江東区住吉2-28-36)

アクセス



小島よしおがやってくる！

来場者全員に
プレゼントあり！

※大ホールへの入場チケット
をお持ちの方のみ

詳細は2面をチェック！

60周年記念事業協賛広告

あそか病院
新棟
1月OPEN
地域医療の拠点へ

社会福祉法人
あそか会

再エネ100宣言
と Earth RE Action

【医療、介護、福祉事業】

・あそか病院
・あそか園
・江東ホーム
・北砂ホーム
・塩浜ホーム
・六華園

・東陽デイサービス
・亀戸デイサービス
・大島デイサービス
・古石場デイサービス
・白河デイサービス
・あそかメディカルサービス

・あそか訪問看護
・長寿サポートセンター
・居宅介護支援事業所

法人化60周年記念

『感謝のつどい』イベント情報

TICKET

オープニングアクト

11:30より中会議室で開催されるキッズチア体験に参加したキッズと、アルバルクチアリーダーによる元気いっぱいのダンスステージ！

感謝状贈呈式

多額のご寄付をいただいた個人・団体、また長期に渡りボランティア活動に尽力された皆様に感謝状贈呈を行います。

こども抽選会

スポーツ観戦チケットなど、豪華景品が当たるかも？！（対象：中学生まで）

心をつなぐファミリーコンサート

久石譲の映画音楽やLet it Goなど、おなじみの曲を演奏します♪
（演奏：NECソリューションイノベータ管弦楽団）

小島よしお お笑いライブ

こどもから大人まで大人気の小島よしおがやってくる！

コーラス（合唱）

江東区民生・児童委員協議会のメンバーで構成された「ぼっぼの会」の美しい歌声が響きます♪

江東社協マスコットキャラクター発表！

143作品の応募の中から選ばれた優秀賞5点、さらにこれからマスコットキャラクターとして活躍する最優秀賞1点を発表！





※事前申込は終了しています

TICKET

アルバルク東京キッズチア体験

アルバルクチアリーダーによるキッズチア体験を開催！
練習後は、12:15より大ホールのステージでオープニングアクトとして披露！
（対象：年中～小学校3年生）
※事前申込は終了しています



※一部メンバーのみ参加

チケットがなくても楽しめるイベントが盛りだくさん！

ティアラフォト撮影会

ティアラをつけてバレリーナになりきろう！
ご自身のカメラで撮影いただけます！



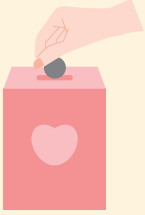
企業・団体ブース

「感謝のつどい」に協賛していただいた企業・団体がPRブースを出展！



寄付つき商品販売ブース

売上の一部または全額が江東社協に寄付される「寄付つき商品」を販売！



詳しくは11面をチェック！▶▶

福祉マルシェ

区内の福祉作業所などによるマルシェで、お買い物を楽しもう！



TUBC バスケットボール体験

遊んでくれた方に、先着で東京ユナイテッドバスケットボールクラブ公式戦チケットをプレゼント！



スタンプラリー

集めるとプレゼントがもらえる！
※なくなり次第終了



キッチンカー、街かどアーティストも来るよ！



イベントスケジュール

	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
大ホール					オープニングアクト・感謝状贈呈式・子ども抽選会・コーラス・ファミリーコンサート・お笑いライブ・マスコットキャラクター発表							
大ホールロビー					協賛企業団体ブース・ティアラフォト撮影会・寄付つき商品販売ブース							
中会議室					福祉マルシェ							
正面玄関前		バスケットボール体験	キッズチア体験									
				キッチンカー								

大ホールへの入場とキッズチア体験のみ事前申込が必要です。

TICKET



江東区社会福祉協議会は 法人化60周年を 迎えました！

昭和28年3月11日に任意団体として設立された江東区社会福祉協議会は、昭和39年7月24日に社会福祉法人として認可されてから60年が経ちました。私たちが60周年を迎えることが出来たのは、江東区社会福祉協議会の活動を支えてくださっている皆さんのおかげです。

これからも、「一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支え合い、誰もが笑顔で安全に暮らせるまち」の実現に向け、地域の皆さんとともに更なる地域福祉の推進に努めていきます。

法人化60周年を迎えて

江東区社会福祉協議会は、昭和28年に任意団体として発足し、昭和39年に社会福祉法人として認可を受けました。このたび法人化から60周年を迎えることができ、これまで地域の皆様や江東区、その他多くの関係機関・団体の皆様からいただいた温かいご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。

創設当初、戦後の復興期に「明るい社会、住みよい江東区」という理念のもとに始まった私たちの活動は、その後も各種福祉サービスやボランティア・市民活動の支援のほか、募金活動、災害時の避難者支援、居場所づくり、コロナ禍における資金貸付など、時代に即し多様化する地域福祉課題の解決に向けた取り組みを進めてまいりました。

さらに、令和5年度には権利擁護センターの中核機関化や、ボランティア・地域貢献活動センターの開設、アウトリーチ活動強化に向けたサテライト城東北部・南部の開設など大幅な体制強化を図ったほか、令和6年度には「第5次地域福祉活動計画」を策定いたしました。このように「新生・江東社協」として、一層の地域福祉活動の推進に向けた歩みを着実に進めております。

法人化60周年という節目を迎え、私たちの原点である「住民同士の助け合い・支え合い」を今一度心に刻みながら、地域の皆様と共に未来を見据えた新しい地域福祉を実現すべく、当協議会は職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、法人化60周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

江東区社会福祉協議会 会長 渡辺 恵司



60周年を祝して

江東区社会福祉協議会が法人化60周年を迎えられましたことを、江東区を代表して心よりお慶び申し上げます。

貴協議会におかれましては、この間、江東区と共に地域福祉の向上と推進にご尽力をいただきましたこと、関係する皆様の多年にわたるご努力に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

近年、少子高齢化の進行や労働人口の減少、デジタル社会への転換など、社会状況やライフスタイルが大きく変化する中、コロナ禍による地域での人間関係の希薄化を始め、生活困窮、社会的孤立、ヤングケアラー、8050問題など地域福祉の課題は複雑・多様化しています。

江東区では、こうした課題解決に向け、「地域共生社会」の実現を目指し、生活上の困難を抱えるあらゆる方への包括的な支援体制を構築するため、地域や行政のつながりづくりに努め、貴協議会をはじめ様々な関係者等との一層の連携に努め、取り組みを進めております。

貴協議会におかれましては、今後とも区との連携を深め、共に地域福祉を推進する車の両輪として、令和5年度より取り組まれている地域拠点の開設や地域福祉コーディネーターの増員によるアウトリーチ活動の強化など、引き続き地域福祉推進のネットワークの中核としての積極的な活動にご期待申し上げます。

結びに、地域の皆様が互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、貴協議会の益々のご発展と、関係各位のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



江東区長 大久保 朋果

サテライト城東北部 (令和5年7月3日OPEN) サテライト城東南部 (令和6年2月15日OPEN) の開設

- 小さなお子さんから高齢の方まで、どなたでも気軽に立ち寄ることができる地域の居場所（交流の場）です。
- 地域におけるさまざまな困りごとの相談に、社協職員が応じる「社協の地域窓口」です。

利用されている方の声

体調などに不安があった私に、友人が新設されたサテライト城東南部に相談に行くよう勧めてくれました。体調や生活の相談ができただけでなく、何気ない日常の会話を交わしている間に、言葉にした分だけ肩の荷が下るせたような気がしました。今では、サテライトは何かあった時・立ち止まった時の心の拠り所。安心して相談できる場所になっています。



北砂7丁目在住
玉野さん

問合せ：

サテライト城東北部 ☎ (5609) 7165 FAX (3681) 4830

サテライト城東南部 ☎ (6666) 3326 FAX (6666) 3399

地域の声



北砂四・七丁目町会
長原会長



町会をあげてサテライト城東南部にバックアップしています。地域住民にとってサテライト城東南部は何でも相談でき、地域住民に『安心』を与えてくれる存在であるからです。昨年8月には町会の納涼祭でこども達に向けたポッチャコーナーを担当してもらいました。これからもサテライト城東南部を地域住民の方々に知ってもらえるよう、町会のイベント等に関わっていただきたいと思います。

納涼会で奮闘する
サテライト城東南部職員

みんなに
知って欲しい！

社協事業を大特集！

高齢者 地域見守り支援事業

- 地域の皆さんが主体的に、その地域に暮らす高齢者に対する見守り活動を行い、高齢者の安否を日常的に確認するとともに、異常等を発見したときに迅速に対応できる体制を確保し、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活を継続できるよう、区・社協が支援する事業です。
- 登録いただいた地域は、「サポート地域」として活動開始にむけた各種のプログラムや活動助成を受けることができます。区内では既に71の町会、自治会等が「サポート地域」として活動しています。

【令和6年度 新規サポート地域】 都営大島6丁目アパート自治会

住人は昔から住んでいる方が多く、だんだん年をとり、ひとり暮らしの高齢世帯が増えており、最近は団地内で孤独死がありました。そこで、何かできないかと思い、サポート地域に応募しました。まずは、集会所で行っている「いきいき体操」やおしゃべり場など、みんなが集まれる場をサロン化していきたいので、江東社協には、引き続き支援をしてほしいです。



都営大島6丁目アパート自治会
野瀬会長

ボランティア・アカデミー 『地域活動への入り口』コース

- ボランティア・アカデミーは、令和6年度より開始した新規事業です。
- 講座やグループワーク、ボランティア活動を通じて、区の地域と福祉について「感じる」「考える」「行う」をテーマに、受講生の地域活動への入り口づくりを行います。

問合せ：江東区ボランティア・地域貢献活動センター
☎ (3645) 4087 FAX (3699) 6266

受講者の声

講座に出席して、ボランティア活動が、地域活動への入口に繋がっている事に心強い思いを持ちました。今後とも色んな活動を通して地域に繋がっていきたいです。



おひとりさま相談・中核機関

- おひとりさま相談
気になる成年後見制度や遺言・死後事務等について「専門相談」を受けられます（30分無料、予約制）。
- 中核機関
成年後見制度の利用促進として、権利擁護支援が難しいケースに携わる支援チーム（長寿サポートセンターなど）へ専門職から助言をもらえる機会を設けています（毎月）。

問合せ：権利擁護センター「あんしん江東」
☎ (3647) 1710 FAX (5683) 1570



支え合い、助け合いのあるまちを目指して 家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）※

※ホームスタートとは：1970年代にイギリスで始まり約50年にわたって実践されている家庭訪問型「ボランティアが訪問する」子育て支援事業です。



● ホームビジター募集 ●

訪問活動をしてくださるホームビジター（ボランティア）を募集しています。毎年5月から7月まで、ホームビジター養成講座を開講しています。詳細は社協ホームページや区報にて周知します。

ホームビジターの声

「活動を始めたきっかけは？」

こどもにかかわるボランティアがしたいと思っていました。自分が子育てをしている時はこのようなサポートがなかったので、自分が助ける側になりたいと思い始めました。

「活動した感想は？」

子育て家庭の大変さ、辛さ、抱えているさまざまな問題に対して本音の部分を聴かせていただくにあたり、傾聴の難しさを毎回感じます。それでも、訪問の回数を重ねていくと、初回と最終日のお母さんの表情が変わっていることに気づき、本来持っている皆さんのエンパワメントに感動させていただいております。



利用されている方の声

「利用のきっかけは？」

実家が遠方のため親が来ることも行くこともできず、また、夫は仕事が忙しいためワンオペになることが予測できました。そのため、早い段階から、いろいろ調べてホームスタートに辿り着きました。

「利用した感想は？」

実家のお母さんみたいで、毎週来てくださることが楽しみでした。夫の転勤で江東区に越してきたため、周りに友達も知り合いもおらず、不安が多い日々でしたが、おかげさまで今ではこどもを通して多くの友達や知り合いができました。江東区に越してきて良かったです。



問合せ

訪問支援について：NPO法人こうとう親子センター
ホームスタート・こうとう
☎090-2162-8835

事業について：在宅サービス係

☎ (5683) 1573 FAX (5683) 1570

江東区の福祉活動の充実に向けて

赤い羽根共同募金運動と歳末たすけあい・地域福祉活動募金

たくさんの
施設・団体の皆さんに
募金箱のご協力を
いただいています



特定非営利活動法人
KOTOともそだちネット
あゆみ保育園

特定非営利活動法人
フローレンス
みんなの未来をつくる
保育園東雲



- 赤い羽根共同募金運動（10月実施）と、歳末たすけあい・地域福祉活動募金（12月実施）の2つの募金活動を行っています。毎年、多くの町会・自治会の皆さん、民生・児童委員の皆さんにご協力いただいています。
- 赤い羽根共同募金では東京ユナイテッドバスケットボールクラブ、歳末たすけあい運動では清水建設江東ブルーシャークスの試合会場で、地域のこどもたちと一緒に街頭募金も行っています。
- 区内の保育園や障害者施設、企業・団体などに募金箱を置いていただき、募金活動にご協力いただいています。

街頭募金に協力いただいたこどもたちの声



東京ユナイテッドバスケットボールクラブホーム開幕戦にて



たくさんの人が笑顔で募金してくれて、とても嬉しかったです。私たちが集めたお金が困っている人たちのために使われると聞いて、みんなで大きな声を出してがんばりました。募金してくれた皆さん、ありがとうございました！

深川バスケットボールクラブの皆さんより



清水建設江東ブルーシャークスホーム開幕戦にて



初めは緊張して上手く募金をお願いが出来なかったけどみんな優しく応えてくれたので最後には上手く出来るようになったと思います。何度も募金してくれた人もいて嬉しかったです。優しい気持ちで集まったお金でみんな幸せになってほしいと思います。

江東ラブビーチームの皆さんより

募金活動にご協力いただける施設・企業・団体の皆さんを募集しております。ぜひ福祉サービス係までご相談ください。

問合せ：福祉サービス係 ☎ (3647) 1898 FAX (3699) 6266

江東社協へのご寄付

- 江東社協では、地域をより良くしていくため、さまざまな方法で寄付を受け付け、活動の財源としています。
- 寄付には、通常のご寄付のほか、『歳末たすけあい募金』などの募金活動、売上の一部が寄付される『寄付型自販機』の設置や、遺産の一部またはすべてを寄付する『遺贈寄付』などさまざまな形があります。寄付をご検討の際は、ぜひお気軽にご相談ください。

問合せ：総務課管理係
☎ (3647) 1895 FAX (3647) 5833

寄付型自販機設置者の声

私たちは毎年、江東区の福祉推進のために寄付を行っています。さらに他の方法で社会貢献できないかと考えていたところ、寄付型自販機のお話がありました。現在、工事現場に寄付型自販機を設置し、日々の飲み物購入を通じ、会社として、また従業員一人ひとりとして社会貢献を意識することができ、大変意義深く感じています。この取り組みが、地域や社会に貢献できる一助となれば幸いです。

新日本工業株式会社



昭和・平成・令和

時代とともに

江東社協 60年史

昭和28年に任意団体として発足し、昭和39年の法人化から60年。
時代の流れとともに、江東社協も変化を遂げてきました。
生活困窮者、障害者、高齢者、子どもたちに寄り添い、地域の声を聞きながら、
住民、ボランティア、多くの関係機関とともに歩んだ歴史を振り返ります。

昭和28年

おもな出来事

S28
NHK放送開始

昭和30年代

S33
東京タワー完成
S35
カラーテレビ
放送開始
S36
みんなのうた
放送開始
S39
東京オリンピック
開催
S39
日本初、東海道新幹線
(東京－大阪間) 開通

高度経済成長と
公害問題

昭和40年代

S43～45頃
学生運動激化

S44
アポロ11号
人類初月面着陸

S44
「サザエさん」
放送開始

S45
大阪万博開催

S47
沖縄返還

S48
第一次
オイルショック

S49
セブンイレブン
1号店が豊洲に
オープン

昭和28年（1953）

■任意団体として千田町に発足

当時の趣意書には次のように書かれています。
「『明るい社会 住みよい江東区』これは区民全体の希求して止まないところであります。 ～中略～ 地域社会全体の向上を図ることはその地域に住む人達全部の連帯責任であり、義務でもあります」
初代会長は、当時の江東区長 二瓶哲治氏 当初の予算額は 644,200円でした。

～渋沢栄一と社会福祉協議会～

「日本資本主義の父」と称され、新一万円札の肖像にも選ばれた渋沢栄一は、明治41年設立の「中央慈善協会」（現：全国社会福祉協議会）の初代会長でもありました。社会福祉の啓発、国民の理解促進、福祉のネットワーク化、持続可能な支援の実施などを訴え、社会貢献活動に尽力しました。



昭和30年（1955）

■世帯更生資金（現・生活福祉資金）貸付事業開始

昭和31年（1956）

■歳末たすけあい募金開始

募金額 625,837円との記録が残っています。

昭和39年（1964）

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会 設立認可

■無料はり・灸・マッサージ事業開始（～令和5年）



昭和40年（1965）

■社協だより創刊号発行

昭和41年（1966）

■身体障害児通所施設「青い鳥ホーム」開設
■第1回江東区老人大学開講（のちの自悠大学）

昭和42年（1967）

■知的障害者通所施設「若竹福祉作業所」開設
■中学校心身障害児学級「卒業を祝う会」開催（～令和5年度）

「卒業を祝う会」は江東区手をつなぐ親の会との共催で、中学卒業後早くから社会にでる生徒たちを祝い激励したいとの思いから始まりました。

昭和45年（1970）

■全国社会福祉協議会会長より「優良社協」として表彰を受ける
■応急小口福祉資金貸付事業開始
■緊急援護金給付事業開始

昭和48年（1973）

■江東区役所新庁舎（現・東陽町庁舎）の完成に伴い
江東社協も2階福祉事務所隣に移転

社協だより創刊号



住吉2丁目に開設された「青い鳥ホーム」



昭和63年3月開催の「卒業を祝う会」の様子



昭和50年代

昭和51年（1976）

- 第1回ボランティア教室開講
- 第1回身体障害者スポーツ大会開催

昭和53年（1978）

- ボランティア相談コーナー開設（区役所2階）
- 第1回手話講習会開講

昭和54年（1979）

- 愛の杖交付開始
- 緊急日用品給付事業開始

昭和55年（1980）

- 第1回初級点字講習会開講

昭和56年（1981）

- 盲人（視覚障害者）ガイドヘルパー派遣事業開始（～平成15年）
- 手話通訳員派遣事業開始

昭和57年（1982）

- 第1回心身障害者作品展開催

昭和58年（1983）

- 「江東区障害者福祉センター」管理運営受託
- 第1回初級朗読ボランティア講習会開講
- ボランティア広報誌「ひびき」創刊号発行（現・コネクトこうとう）
- 「江東ボランティア・センター」開設
- 社協だより新聞折り込み開始

昭和59年（1984）

- 「江東区城東老人福祉センター」管理運営受託
- ひとり暮らし老人給食サービス開始
- 交通遺児援護基金設置（～平成14年）
- 学生ボランティア夏季体験学習開始

視覚に障害のある方の病院への同行や、ショッピング、講習会参加など外出のお手伝いをするガイドヘルパー。

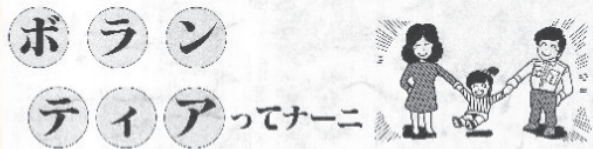


アイマスクを使っのガイドヘルプ実習



チャレンジ精神あふれる作品がいっぱい

心身障害者作品展の様子。
現在は障がい者作品展と名を変え、令和6年度で43回目になります。お楽しみに！



当時の社協だよりでは、こんな見出しでボランティア活動
を呼び掛けていました



21世紀をめざし
—高齢者は挑戦する—

5月10日にオープンをした城東老人福祉センターは、高齢者のもつ活力をひきだし、健康で生きがいをめざす施設として注目をあびております。

城東老人福祉センター開設当時の社協だより

S51
ロッキード事件

S54
ソニー「ウォークマン」
発売
S54
「機動戦士ガンダム」
「ドラえもん」
放送開始

S58
東京ディズニーランド
開園
S58
ファミリーコンピュー
ター発売

昭和60年代

昭和60年（1985）

- 「江東区深川老人福祉センター」管理運営受託
- 伊豆大島三原山噴火被災者見舞金を歳末たすけあい募金により配分被災された方への支援



昭和61年2月から始まったミニ
ハンディキャブの貸出。
その名も「フレンドリー号」。



社会福祉協力者に賞状を贈る当時
の小松崎軍次会長（江東区長）



昭和63年発行の社協だよりの
会員募集記事

S60
日航機墜落事故

S61
チェルノブイリ
原発事故
S61
ポケベルの普及
S61～H3
バブル経済景気

【法人化20周年の社協だより記事より抜粋】
「20年の歩みのなかで特筆すべきことは、社協が設立以来、心身障害者児の通所訓練施設を運営して
きたことであり、当時としては都内でも珍しく他に先駆けて実施した試みは広く反響を呼び多くの評
価を得てきました。
～中略～ そして初めて障害者福祉センターが区によって新設され、管理運営を社協が受託すること
になりました。」

昭和62年（1987）

- 障害者通所授産施設「江東区まつのみ作業所」開設、管理（翌・昭和63年より運営）
- 点訳ボランティア養成事業開始（点字講習会・点訳サービス）（～平成12年）
- 手話通訳員養成事業（手話講習会）開催

ボランティア養成講習エンジン全開



S63
リクルート事件

平成
元年代

H1
日本で初めて消費税
3%導入
H1
ベルリンの壁崩壊

H3
ソ連崩壊

H4
「クレヨンしんちゃん」
放送開始

H5
Jリーグ開幕

H7
ボランティア元年
H7
阪神・淡路大震災
H7
地下鉄サリン事件
H7
PHSサービス開始

H9
消費税5%
H9
「ポケット・モンス
ター」放送開始

平成
10年代

H10
Windows98発売

H12
三宅島火山噴火
H12
介護保険制度開始

H13
アメリカ同時多発テロ
事件

平成元年（1989）

- ボランティア活動展開催
- 老人介護講習会開催
- 障害者作品バザー「手作り市」開催



家族に要介護者がいる方や、ボランティア活動を希望している方を対象に、実技実習を交えた講習会を定期的を開催するなど、在宅福祉への取り組みに力を入れていました。

平成2年（1990）

- ハンディキャブ（リフト付きワゴン車）貸出事業開始

平成4年（1992）

- 「江東区亀戸老人福祉センター」管理運営受託

平成5年（1993）

- 在宅介護者のつどい開催

平成7年（1995）

- 赤い羽根共同募金事務局となる
- ホームヘルパー養成講座を開催（～平成14年）
- 高齢者総合福祉センター（東陽6丁目）に移転

平成8年（1996）

- 「江東区深川老人福祉センター森下分館」管理運営受託
- 「江東区福祉公社（ふれあいサービス）」が社協に統合

平成9年度から事務局の体制が「地域福祉課」「福祉サービス課」の2課制となりました。赤い羽根共同募金事務局を区から引き継ぎ、ふれあいサービスが福祉公社から統合されるなど、事業拡大に伴い変わっていく江東社協です。

パソコン、インターネットが普及してきた当時、ボランティアセンターでも平成10年4月にコンピューター端末を導入。「ボランティア活動のコーディネートに利用することで、諸条件を入力すればニーズに合うボランティアをたちどころに検索できます」と社協だよりに掲載されていました。

江東ボランティア・センター開設5周年を記念して開かれた活動展。これまでの活動実績を広く区民に紹介するため、「下町の愛さわかー知り愛・ふれ愛・たすけ愛」をテーマに亀戸ステーションビルを会場に開かれました。



▲「お客さんいっぱいこないかな～」

区内障害者作業所で作った製品を販売する「手作り市」。事業の調整やPRなどを江東社協が行っています。



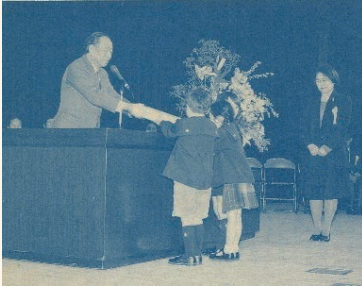
運転する人がいない利用者のために、運転ボランティアの派遣も同時に行っています。



城東、深川に続き、亀戸にも老人福祉センターが開設し、健康維持、学習の場、ふれあい・出会いの場として多くの方にご利用いただきました。



当時の「社協だより」紙面より



当時の室橋昭会長（江東区長）から大島新生幼稚園へ感謝状を贈呈



コンピューターでボランティア検索中

平成10年（1998）

- 「江東区亀戸福祉作業所」管理運営受託（～平成13年）
- 財産保全サービス事業開始
- リサイクル介護用電動ベッド貸出事業開始

平成11年（1999）

- 江東区地域福祉活動計画策定
- 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）実施

平成12年（2000）

- 江東社協会員あて「事業のあらまし」作成
- 三宅島からの避難者支援実施

平成13年（2001）

- ファミリー・サポート・センター事業開始
- 「江東区障害者地域自立生活支援センター」開設（～平成17年）
- ボランティア連絡会・江東ボランティアまつり開催

平成14年（2002）

- ふれあい・いきいきサロン活動支援事業開始
- シニアボランティア養成講習会・ボランティア入門講座開催
- 離職者支援資金開始
- ふれあいサービス事業拡大（一時支援・ランドリーサービス追加）
- 社協ホームページ開設
- ふれあいサービスの事業拡大の中でも特に産前産後の一時支援は多くの方にご利用いただきました。

地域福祉活動計画に対する区民の皆さまのご意見をお伺いするため、区内4か所の会場で住民懇談会を開催しました。



地域の声から生まれた「豊洲子育てひろば」。「多くの不安とストレスを抱え、話し相手もなく、一日中こどもと二人きり。そんな子育てに支援の輪を広げたい」当時から子育て支援活動に奔走していた現・渡辺会長の呼びかけから始まりました。乳幼児を連れて安心してあそべる場所が少なかった区南部地域で民生・児童委員やボランティアにご協力いただき、豊洲子ども家庭支援センターが開所されるまでの間、その役割を果たしました。

平成15年（2003）

- 災害ボランティア養成講習会開催
- 企業の社会貢献活動支援開始
- 豊洲子育てひろば（～平成19年）

平成17年（2005）

- 亀戸あかちゃんひろば（～令和3年）
- ボランティアコーディネーター講習会開催

平成18年（2006）

- 指定管理者として施設管理運営
障害者福祉センター（～令和4年度） 老人福祉センター（～平成22年度）
まつのみ作業所（～平成27年度）
- 福祉教材貸出開始
- 車椅子点検整備ボランティアの会活動開始

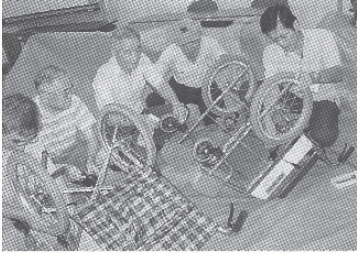
平成19年（2007）

- 権利擁護センター「あんしん江東」開設
- ボランティアコーディネーター相談活動開始

平成12年9月の三宅島噴火で全島避難となり、4年余り江東区で避難生活を送られていた方々が平成17年に帰島。その間の支援に対する感謝のメッセージを当時の社協だよりから要約しました。

江東三宅島会の方々と支援ボランティアグループ和船に乗る

「慣れない都会生活に不安と焦りで意気消沈の境地にありましたが、各種イベントの企画や生活必需品の提供、歳末たすけあい運動による支援金の支給など物心両面に渡る支援のおかげで前向きな姿を取り戻すことができましたと感謝しています。「江東・三宅島会支援ボランティア」も立ち上がり、私たちと行動を共にする中で温もりと元気をいただきました。長い間ありがとうございました」



シニアボランティア養成講習会の受講仲間から発足した車椅子点検整備ボランティアの会（結成当時の活動の様子）

平成21年（2009）

- 第2次江東区地域福祉活動計画策定
- ファミリー・サポート事業 対象年齢拡大

平成22年（2010）

- 介護保険要介護認定調査事業開始

平成23年（2011）

- 高齢者地域見守り支援事業開始
- 権利擁護センター法人後見等事業開始
- 東日本大震災被災者支援開始

避難者の孤立化を防ぐ

国家公務員宿舎東雲住宅をはじめ、東日本大震災の被災地より江東区内に避難している方々への戸別訪問を重点実施するとともに、サロンの設置、交流イベントの開催など、行政・福祉関係団体等と連携した支援活動を実施しました。

平成25年（2013）

- 社協出前講座開始

平成26年（2014）

- 第3次江東区地域福祉活動計画策定

平成27年（2015）

- 社協だより全戸配布開始
- 高齢者生活支援体制整備事業開始
- 生活支援コーディネーター配置
- 社協カフェ「みんなの居場所」事業開始



社協カフェ

地域ボランティアの協力を得て、おしゃべりを楽しむカフェコーナーや生活に役立つイベント、福祉総合相談など区内4か所で定期的に行っています。

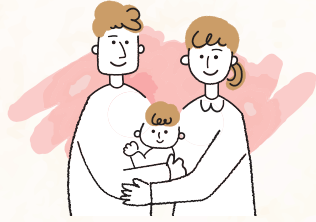
平成28年（2016）

- 家庭訪問型子育て支援（ホームスタート事業）開始
- 地域福祉コーディネーター配置
- 障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定調査事業開始
- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業開始

平成29年（2017）

- 地域福祉サポーター養成講座開始
- 多機能型地域福祉活動拠点助成開始

ファミリー・サポートは、生後4か月からだった対象年齢を、生後57日から小学3年生までのお子さんに拡大しました。



ご近所の絆が「孤立」を防ぐ！

「高齢者地域見守り支援事業」スタート

ひとり暮らし高齢者が増加し、社会的な孤立や孤独死が大きな社会問題として顕在化した当時、区から委託を受け、「高齢者地域見守り支援事業」がスタート。老人福祉センターの指定管理終了後、地域福祉推進課を新設し、町会・自治会・老人クラブなどが行う地域での見守り活動、支えあい活動の本格的な支援に取り組んでいきました。



平成27年度福祉のつどい

当時の山崎孝明会長（江東区長）から都立東高等学校生徒会へ感謝状を贈呈



災害ボランティアセンター
設置運営訓練の様子

江東社協は、災害で甚大な被害が生じた場合、手助けを必要とする被災者と各地から集まったボランティアをコーディネートする（つなぐ）「江東区災害ボランティアセンター」を設置・運営します。



地域福祉コーディネーターとは

地域の困りごとや課題に対し、地域住民や関係機関と協力しながら、解決に向けた取り組みを行う、地域の身近な相談窓口です。孤独死を減らす地域の見守り活動の支援、社協出前講座、社協カフェの定期的な開催、ふれあい・いきいきサロンの活動支援など、積極的に地域に出て活動しています。

H16
新潟県中越地震
H16
「冬のソナタ」
韓流ブーム

H19
初代iPhone発売

平成
20年代

H20
リーマンショック

H23
東日本大震災

H24
東京スカイツリー開業

H26
消費税8%

H28
熊本地震

H30
西日本豪雨

令和
元年代

- R 1
消費税10%
- R 2
新型コロナウイルス
緊急事態宣言発令
R 2
令和2年7月豪雨
- R 3
東京オリンピック・
パラリンピック開催
R 4
ロシアの
ウクライナ侵攻
R 4
安倍元首相銃撃
R 5
生成AIの活用進む

平成31年・令和元年（2019）

- 第4次江東区地域福祉活動計画策定
- 江東区内社会福祉法人ネットワーク立ち上げ

令和2年（2020）

- 生活福祉資金
緊急小口資金等の新型コロナ特例貸付開始（～令和4年）

令和3年（2021）

- 江東社協「Twitter（ツイッター）」（現・X（エックス））開設

令和5年（2023）

- 地域拠点「サテライト城東北部」開設
- 江東区ボランティア・地域貢献活動センター開設
- 権利擁護センター「あんしん江東」中核機能機能を追加
- ファンドレイジングの取り組み開始



第5次地域福祉活動計画策定にあたり開催した「まちづくり話し合いひろば」参加された方々のご意見を計画に反映させました。計画が完成した後も、地域の手による地域づくりの場となるよう、継続開催しています。

令和6年（2024）

- 第5次江東区地域福祉活動計画策定
- 食糧支援事業開始
- 地域拠点「サテライト城東南部」開設
- 江東社協「Instagram（インスタグラム）」開設



社会福祉法人
江東区社会福祉協議会
法人化60周年



コロナ禍の令和2年6月にオープンした大島六丁目団地内のコミュニティサロン「カフェ06（ゼロロク）」

新型コロナウイルスの蔓延で激変した私たちの日常
緊急事態宣言が発令され、マスク着用義務やソーシャルディスタンスの保持、イベントの中止など人と人とのつながる機会が制限される中、休止を余儀なくされた地域活動も多々ありました。そんな中でも、安全対策を講じながら、つながりを途切れさせないよう、新たな孤立を生まないように活動を続けてきた地域の方々に江東社協はサポートし続けました。



今や当たり前となったZoomでのオンライン会議



ついでで席を区切って活動するカラオケサロン



令和5年6月
江東社協初の民間からの会長が誕生！
これまで社協の会長はその当時の江東区長が選任されていましたが、初めて民間から「江東区助け合い活動連絡会」の渡辺恵司代表が選任されました。



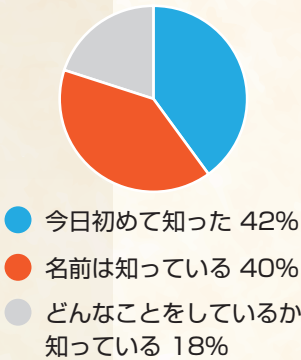
令和5年7月、江東社協初の地域拠点「サテライト城東北部」が大島8丁目にオープン



令和6年2月、2か所目の地域拠点「サテライト城東南部」が北砂7丁目にオープン

昨年10月の区民まつりで行った
江東社協の認知度 アンケート結果

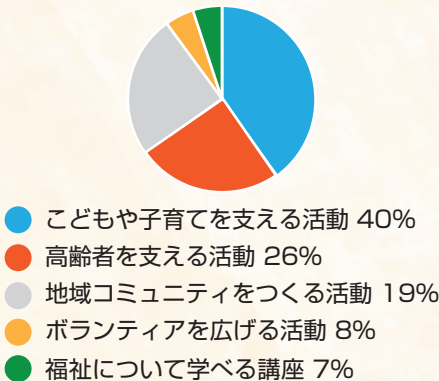
Q1.社会福祉協議会を知っていますか？



江東社協を知らなかった人 42%

以前から指摘されている社協のPR不足という課題がまだまだ改善されていない結果となりました。
「江東社協の取り組みをもっと知ってほしい」
「他人ごとではない、我がごとの地域づくりと一緒に進めたい！」
江東社協の使命を胸に、新たな取り組みにも挑戦していきます。

Q2.社会福祉協議会に期待すること



もっともっと身近な社協に

■ 地域拠点・サテライトが増えます！

ただいま、サテライト深川北部の開設準備中！今後も、区内の拠点を増やし、きめ細やかなサービス提供に努めます！

お待たせしました！
深川地区にも
サテライトできます

■ マスコットキャラクター誕生します！

60周年を記念し募集した江東社協のマスコットキャラクターがいよいよ決定！1月26日（日）感謝のつどいで発表します！お楽しみに！

どんなキャラクター
になるのかな？

ほぼ毎日？
投稿してます！

■ 公式Instagramはじめました！

令和6年8月に開設し、早くもフォロワー300人突破！事業紹介だけでなく、区内を走り回る社協職員が見た地域の何気ない風景写真なども投稿しています。今後もたくさんの投稿を通して、江東社協を知っていただけるよう頑張っていきます！



江東区社会福祉協議会からのメッセージ

そして、これからも—— 私たちは「一人ひとりの尊厳が守られ、地域でともに支え合い、誰もが笑顔で安全に暮らせるまち」の実現に向けた活動を行っていきます。少子高齢化の進展や孤独・孤立、生活困窮、コミュニティの脆弱化など、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け全力で取り組みます。そのために、職員一丸となり、地域の皆さんやさまざまな団体との協力や連携を積極的に行い、地域の支え合い活動の支援など、地域の皆さんとともに地域福祉の推進に努めます。

法人化60周年記念「感謝のつどい」 寄付つき商品についてご紹介

法人化60周年記念「感謝のつどい」では、
さまざまな形でたくさんの企業・団体の皆様にご協力をいただいています。
その中の1つ、「寄付つき商品」についてご紹介します。
「寄付つき商品」とは、売上の一部または全部を江東社協にご寄付していただく事業です。

佐野味噌醤油株式会社

佐野味噌醤油(株)は、昭和9年創業の、味噌や発酵食品を取り扱う味噌のエキスパートです。「感謝のつどい」当日は、お味噌と出汁にこだわったフリーズドライのおみそ汁「蔵椀8食詰め」を販売します。ご購入いただくと、売上の全部が江東社協へ寄付されます。



細田木材工業株式会社

木の良い質感を残した温かみの感じられる木のホワイトボード「きえすぎくん」を販売します。ホワイトボード用ペンや水性クレヨンで気持ちよく書いて消すことが出来る商品です。ご購入いただくと、売上の一部が江東社協へ寄付されます。



CAFE kichi

「感謝のつどい」会場の地下1階にあるカフェです。
ドリンク付ランチ、パスタや軽食、アルコール有。ガスオーブンで作るスイーツは全て手作りで、エスプレッソにはラテアートもしています。当日ご飲食いただくと、売上の一部が江東社協へ寄付されます。



Lino Luana

白磁に転写紙を貼り、800℃の電気炉で焼成した作品を販売します。
お皿やスプーン、箸置きのほか、お部屋を彩る置物など、さまざまな商品からお選びいただけます。ご購入いただくと、売上の一部が江東社協へ寄付されます。



「感謝のつどい」にご協力いただいた企業・団体

協賛・寄付：(株)IHI、アスクル(株)、(社福)あそか会、ウェルライフグループ アンフェリシオン・平安祭典、NECソリューションイノベータ(株)、オルガノ(株)、佐野味噌醤油(株)、(一社)清水建設江東ブルーシャークス、新日本工業(株)、多田建設(株)、(公財)東京シティ・バレエ団、東京東信用金庫、(株)東京ユナイテッドバスケットボールクラブ、トヨタアルパルク東京(株)、(株)はこねフローリスト、(株)羽田野建設、(株)フジクラ、(株)村内ファニチャーアクセス、優企画、菱幸運輸(株)

協力：(公財)江東区文化コミュニティ財団ティアラこうとう

寄付つき商品提供：CAFE kichi、細田木材工業(株)

(順不同、敬称略)

車いすのご寄贈いただきました

多田建設株式会社

令和6年8月20日
こども用車いす 2台



代表取締役 社長
佐藤 俊也 様

車椅子点検整備ボランティアの会

令和6年10月18日
介助用車いす 2台
自走用車いす 3台



車椅子点検整備
ボランティアの会の皆さん

いただいた車いすは、皆さんへの貸出用車いすとして活用いたします。

善意のご寄付ありがとうございます

物品寄付者のご報告(令和6年6月4日から令和6年11月26日)
敬称略・受付順

- ▶新井 咲子 (車いす 1台)
- ▶栗田 麗子 (毛布 1枚)
- ▶田中 金一 (紙おむつ/パッド 3袋等)
- ▶岸田 靖代 (車いす 2台)
- ▶どんぐり保育園南砂 (アルファ米100袋)
- ▶三井住友カード (株) (三井記念美術館招待券120枚)
- ▶ライフフレッシュケア・江東 (シルバーカー 3台)
- ▶匿名 (車いす 1台/肌着 1組)
- ▶匿名 (車いす 1台/紙おむつ 3袋)
- ▶匿名 (紙おむつ 1袋/パッド12袋)
- ▶匿名 (紙おむつ 1袋/パッド 1袋)
- ▶孟 睿治 (しおり 196本)
- ▶小川 由季子 (紙おむつ 6袋/ガーゼ等)
- ▶太田 鉄男 (車いす/食料品一式)
- ▶(株) NTT DATA,Inc. (食料品一式 55kg)
- ▶五十嵐 祥高 (文房具一式)
- ▶(一財)東京都営交通協会の会 (災害備蓄用食品一式)
- ▶河合 廣義 (紙おむつ 4袋/パッド 2袋)
- ▶BIPROGY (株) (シャープペンシル 343本)
- ▶松浦 賢二 (玩具一式)
- ▶匿名 (米 5kg)
- ▶谷 秀樹 (紙おむつ 6袋/パッド 4袋)
- ▶笹川 優子 (携帯用防災頭巾1570個)
- ▶匿名 (布バッグ類 38個)
- ▶匿名 (紙おむつ 2袋)
- ▶明治安田お客さまサービス相談部 (医療用書籍 14袋)
- ▶神原 久美子 (紙おむつ 3袋/パッド 7袋/車いす用レインコート 2個)
- ▶清野 政子 (紙おむつ 5袋/パッド 2袋)
- ▶大樹生命保険 (株) 営業企画部一同 (食料品一式)

※いただいた物品は、区内福祉施設などへ贈りました。上記に掲載した寄付以外にもたくさんの善意が寄せられています。
※車いすは、区民の皆さんへの貸出用とさせていただきます。
※使用済み切手などは、江東ボランティア連絡会の活動のために活用させていただきました。

第43回 障がい者作品展のお知らせ

開催日程

令和7年2月18日(火)~21日(金)

開催時間

午前9時~午後9時まで
※最終日は午後3時まで

会場

江東区文化センター2階 展示ロビー
(江東区東陽4-11-3)



令和6年 能登半島地震 義援金のお願い

江東区社会福祉協議会では被災された方々を支援するための義援金を募集しています。
あたたかなご支援をお待ちしております。

※お寄せいただいた募金は
江東区社会福祉協議会から中央共同募金会を通じて被災者へ届けられます。

【受付窓口】

江東区社会福祉協議会 (東陽 6-2-17 高齢者総合福祉センター 2F)
サテライト城東北部 (大島 8-28-5 ライオンズタワー大島 1F)
サテライト城東南部 (北砂 7-7-1-101 UR北砂七丁目団地 1F)

お預かりした義援金総額

7,281,663円

(11月29日まで)

多大なご協力
ありがとうございます

法人化60周年記念「感謝のつどい」

江東区社会福祉協議会への多くのご寄付及び
地域福祉事業へのご協力に心から感謝申し上げます。

江東区社会福祉協議会では毎年、多額のご寄付をいただいた個人・団体、
また長期に渡りボランティア活動に尽力された皆様に感謝状贈呈を行っております。
今年度は下記の方々に感謝状をお贈りいたします。

個人（特別）

○及川 慎子
○優企画
笹川 優子

個人（一般）

○石渡 基治
○伊藤 昭二
○小室 明子
○竹林 聡明
○匿名 4名

団体（特別）

○ウェルライフグルー
プアンフェリシオン
・平安祭典
○新日本工業株式会社

団体（一般）

○アスクル株式会社
○医療法人社団亀藤会
亀戸中央通り歯科
○ウスクラ建設株式会社
○NECソリューション
イノベータ株式会社
○オルガノ株式会社
社長 山田 正幸
○株式会社IHI
代表取締役社長 井手 博
○株式会社羽田野建設
○株式会社村内ファニチャー
アクセス
○株式会社ワイズマート
○北砂亀高クラブ
○車椅子点検整備ボランティ
アの会

○公益社団法人 江東西法人
会女性部会
○公益社団法人 東京都宅地
建物取引業協会第二ブロッ
ク江東区支部
○江東区明るい社会づくりの
会
○江東区更生保護女性会
○江東区老人クラブ連合会
○江東建設業協会
○ジオパック株式会社
代表取締役 時田 義明
○社会福祉法人あそか会
○多田建設株式会社
代表取締役 佐藤 俊也
○田中商店・田中 季彦
○東覺寺

○東京土建一般労働組合江東
支部
○東京都中央卸売市場豊洲市
場福祉報徳会
○東京都立第三商業高等学校
生徒会
○東京東信用金庫
○日蓮宗 東京都東部社会教
化事業協会
○日興ビジネスシステムズ株
式会社・日興みらん株式会
社
○東砂永寿会
○深川消防団 第二分団
○森下商店街振興組合
○菱幸運輸株式会社
○匿名 1 団体

ボランティア（個人）

○竹内 弘江
○羽賀 恵子
○緑川 教子
○宮崎 英則
○渡部 靖子
○匿名 3 名

ボランティア（団体）

○櫻川流江戸芸かっぱれ亀戸
道場
○手話サークル江東
○銭太鼓同好会
○朗読の会 マザー・グース
○匿名 1 団体

(順不同・敬称略)

法人化60周年記念事業
協賛広告

Orchestrating a brighter world

NEC

いつかを、
いまに、
変えていく。

NECソリューションイノベータ

Clean Water, Clean Future.

クリーンな水で、クリーンな未来を。
人と地球のために。オルガノは、水がもつ可能性と向き合い、
クリーンで快適な未来を育むお手伝いをしています。

プラント事業
(水処理装置製造・販売)

超純水・純水製造システム／排水処理
システム／有機物回収システム／上下水
運搬システム 他

ソリューション事業
(納入装置メンテナンス・運転管理)

装置メンテナンス／運転管理／処理水
供給／遠隔監視 他

機能商品事業
(標準装置／水処理薬品／食品加工 製造・販売)

標準型水処理装置／機能水製造装置／
冷却水処理剤／ボイラ処理剤／食品添
加剤 他

オルガノ株式会社 〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号 TEL (03) 5635-5100 FAX (03) 3699-7030

www.organo.co.jp

東京にある日本最大の家具店

家具は村内
八王子

ASKUL

アスクルで
仕事場の
「欲しい！」が
必ず見つかる

アスクルは、働くすべての人に必要なものや
サービスをお届けする通販サイトです。
法人以外のお客様もご利用いただけます！

掲載商品・サービスは、予告なしに価格・仕様等が変更になる場合があります。商品の
色・素材感は写真では多少異なって見える場合があります。※2025年1月5日現在
アスクル株式会社 Copyright © ASKUL Corporation. All rights reserved.

「つなぐ」テクノロジー™ で未来をひらく

Fujikura

株式会社フジクラ 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1
https://www.fujikura.co.jp

夢を夢で終わらせない信用金庫

higashin

東京東信用金庫

東京東信用金庫
マスコットキャラクター
ひがびよん

ひがびよん

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会

〒135-0016 江東区東陽 6-2-17
江東区高齢者総合福祉センター 2F

TEL (3647) 1895
FAX (3647) 5833

Instagramはじめました！

江東社協に関する情報や、
職員が見つけた街の風景
など、随時更新中☆

ぜひフォロー
してください！

KOTOSHAKYO_OFFICIAL

社協だより
全戸配布について
のお問合せ

社協だよりコールセンター
☎ 050 (5434) 9304

平日（月曜から金曜）
午前9時から午後6時

社会福祉法人
江東区社会福祉協議会

〒135-0016 江東区東陽 6-2-17
江東区高齢者総合福祉センター 2F

TEL (3647) 1895
FAX (3647) 5833

葛西橋通り
木場公園
東陽6丁目
（江東区役所）
社会福祉協議会
（高齢者総合福祉センター2F）
江東区役所
四ツ目通り
1番出口
木場駅
←至門前仲町
東京メトロ東西線
永代通り
東陽町駅

社協X
(旧ツイッター)

江東社協HP

Instagramはじめました！

江東社協に関する情報や、
職員が見つけた街の風景
など、随時更新中☆

ぜひフォロー
してください！

KOTOSHAKYO_OFFICIAL

社協だより
全戸配布について
のお問合せ

社協だよりコールセンター
☎ 050 (5434) 9304

平日（月曜から金曜）
午前9時から午後6時